

目標達成計画

作成日：平成 26年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	法人全体の理念に基づき、グループホームならではの視点をもって月ごとの事業目標を明確に設定し、職員自身が理念の実践に取り組み、次につながるよう振り返りの機会を設ける。	「ありがとうを大切にしたい」という法人の理念を具現化できるよう、「グループホームあおなし」として関連性をもたせて毎月の事業目標を設定し、全職員がそれを共有・意識し、実践に取り組む。	全職員が参加の機会をもつ全体会議(月に1回開催)において、理念と年間事業計画(毎月の目標)が意識・共有できているか、理念に適った行動ができているか(ありがとうを大切にできているか)を振り返り、実践につなげていく。	12ヶ月
2	6	施設周辺は車や自転車の交通量も多く、ご入居者の安全性を重視する法人の方針として、玄関の施錠を入居利用開始時に、ご入居者・ご家族へ説明させていただいた上で実施している。	安全性を重視する観点から、施錠は継続して実施するが、過剰な施錠は身体拘束(行動の制限)のひとつであることを認識する。ご入居者の希望に応じた外出や行事等を通じて、一時的に開錠できる機会を増やせるよう取り組む。	3つのユニットの合同行事開催時やゴミ捨て時等の家事、また天気の良い日は屋上などでお過ごしいただく際に、行動制限にならないようご入居者個々の心身の状態をカンファレンスで検討して、十分な安全配慮を行ったうえで、玄関を開錠できる機会を増やしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。